

先日の音楽会は好天に恵まれ、ご来賓の皆様はじめ、保護者、地域の皆様方、多数お越しいただき誠にありがとうございました。会場は、溢水の余地もないほどたくさんの方で身動きが取れないくらいでした。皆様方にお褒めの言葉を頂き、高い評価を戴きましたことは、子どもたちも、職員も大変うれしく、今後の励みになります。本当に「感動 感動 感動」の一日を共に過ごしていただき、ありがとうございました。なお、来週、16日（火）～19日（金）までの4日間、オープンスクールを実施いたします。時間割は担任から配布しておりますが、授業中以外の休憩時間の遊びの様子や給食、清掃等の様子もご覧いただけますので、ぜひ、お越しいただきますようお願い申し上げます。

《北浜小学校の教育目標》

みんな仲よく、よく学び、よく遊べ 北浜っ子

《北浜小学校基本方針》

子ども中心、安心・安全で信頼される学校

「保・幼・小との交流」



5年生が北浜保育園と幼稚園に、「本の読み聞かせ」に行きました。この時期の読み聞かせは子どもを「本好き」にする大切な時期です。親子読書週間は終わりましたが、引き続き親子読書を続けてください。本はあなたの大切な「友だち」「相談相手」にもなってくれます。



「高砂市交通安全 思いやり声かけ運動」作文募集において、6年生の長谷川嗣穂君が優秀作文で「佳作」に入賞しております。大変すばらしい心温まる作文ですので、全文紹介したいと思います。

なお、この運動は、本年4月に発足したばかりの運動で、地域住民と共にお互いが社会生活の中で、子どもや高齢者だけに限らず危険な行動や良くない行為等を見かけたら、ほんの一声だけの注意をしてあげて、事件や事故のない安全で安心な高砂市を築くことを目的に活動するという趣旨で始められています。

また、長谷川君は「人権啓発ポスター」でも優良賞に入賞し、12月3日（金）の人権フェスティバル（高砂市文化会館）でも表彰されます。

「思いやり声かけ運動」

6年 長谷川嗣穂

ぼくの近所のおばさん達は登下校の時、いつもだれかれなしに「おはよう」「いってらっしゃい」「お帰り」と声をかけてくれます。初めは知らない人だし何となくはずかしくて下を向いて小さな声でしか返事できないでいました。ある時ふとしたしゅん間にとても大きな返事を返すことが出き、とても自分でも気持ちよくて、そのおばさんもニコニコうれしそうでした。あいさつって気持ちが良いものだなって始めて感じました。その日は学校の教室に入ってもみんなに自分から声をかけられたし、返してもらったりと花丸気分の日でした。あいさつだけではありません。知らない人にも危ない時、注意しなくてはいけない時に声をかけてあげることは大切な事だと思います。友達と自転車で公園へ行く途中、曲がり角を回ろうとしていた時「車がきよるよ」っておばさんが言ってくれました。おもいきりしゃべるのに夢中になっていたのも車があるなんて思いもしなくて、ハッとして速度をゆるめたこともありました。その時声をかけてくれなかったら大変なことになっていたかもしれません。横断歩道で信号が黄色から赤に変わろうとしていた時、小っちゃな女の子がこけてしまいました。その子のお母さんはその事に気がつかずに前を歩いています。わあ～どうなるんだろうと思ってた時、ボクより少し上の中学生くらいのお兄ちゃんが急に走って女の子の手を引いて立たせてあげ「はよ、お母さんとこ走っていき」って言うていました。ボクはドキドキしてなにもせずに見ただけだったけれど、そのお兄ちゃんはその後さっさとどこかへ歩いて行きました。いっしゅんの事で、それから信号は変わり、車が動き出しました。自分より小さい人、お年寄り、なにかの事で困っている人がいたら、その人の立場になって考え、助けてあげられるようになりたいと思います。近所の知らないおばさんのあいさつのように、気持ちよく一日が過ごせるように自分ができる事があれば、小っちゃな事でもよいから行動して、みんなが仲良くできるよになればいいなって思います。